

《Mechanisms of Chronic Pain》 グローサリー

calcitonin gene-related peptide :CGRP

【カルシトニン遺伝子関連ペプチド】 神経の興奮に伴って末梢神経の脊髄内終末から放出されたり軸索反射性に末梢終末からも放出され、[神経性炎症](#)を生じさせる。

Cerebral【大脳の】

c-Fos【c-Fos 蛋白】 痛みにより脊髄後角に発現することが報告された前初期遺伝子がコードする蛋白。

Contracture【拘縮】 関節や筋が動かなくなった状態(長期間の廃用やギプス固定、不動化によって生じる)

dorsal horn 【脊髄後角】 脊髄の後方にあり感覚神経(求心性線維)のほとんどがここを通過して脊髄に進入する。

dorsal horn neuron【後角細胞】 脊髄後角にある主に感覚を受容する神経細胞

forepaw【前肢(前足)】

high-threshold neuron【高閾値作動性ニューロン】 脊髄後角細胞のうち侵害刺激にのみ反応するタイプのニューロン

immunohistochemical【免疫組織化学】 免疫組織染色などの手法を用いて神経にある受容体や伝達物質を染色する事で神経やそれらの間での役割の分析を行う手法。

innocuous stimuli【非侵害刺激】 痛みを生じない触覚などの刺激

ipsilateral【同側】

low-threshold neuron【低閾値作動性ニューロン】 脊髄後角細胞のうち非侵害刺激にのみ反応するタイプのニューロン

neuronal sensitization【神経感作】 侵害刺激などによってニューロンの反応性に変化が引き起こされること(例えば従来は反応しなかったような弱い刺激に対しても反応するようになること)

neuro-peptide【神経ペプチド】 CGRPやサブスタンスPなどの神経から放出され、神経伝達にも関与するタンパク

noxious stimuli【侵害刺激】 痛みを生ずる刺激(有痛性の温度や化学物質あるいは機械刺激)

plastic change【可塑的变化】 生体特に神経系が、学習や経験によるあるいは損傷を受けた後に機能的・形態的な変化や修復を起こし、それが持続すること。

plastic cast【プラスチックギプス】

Substance P【P物質】 神経ペプチドの一つ、末梢神経や脊髄後角に分布する。末梢では神経性炎症を引き起こし末梢血管拡張作用、毛細血管透過性亢進作用を有する。脊髄後角で

は中枢性の過敏化(感作)など重要な神経系の変化を引き起こす。

wide-dynamic-range neuron【広域作動性ニューロン】 脊髄後角細胞のうち非侵害刺激にも侵害刺激にも反応するタイプのニューロン、痛み刺激などによって感作を起こしその反応性を変える事が知られている。